

平成14年10月定例会会議録

1 日時

平成14年10月17日(木) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時00分

2 場所

教育委員室

3 出席委員

委員長 高木 恒雄
委員長職務代理者 村瀬 光一
委員 砂田 清子
委員 数野 美つ子
教育長 落合 護

4 出席職員

教育次長 石毛 成昌
管理部長 平川 道雄
学校教育部長 皆川 征夫
生涯学習部長 石井 英一
学校教育部次長 島田 泰三
生涯学習部次長 阿部 忠弘
管理部参事兼総務課長 加藤 嘉美
管理部参事兼財務課長 高橋 恒男
管理部参事兼施設課長 松本 秀男
学校教育部参事兼指導課長 坂口 和治
生涯学習部参事兼市民文化ホール館長 香河 寿徳
学務課長 山岸 信和
保健体育課長 後藤 宏行
社会教育課長 河野辺 則夫
文化課長 大橋 武彦
青少年課長 福地 幹夫
生涯スポーツ課長 稲田 時男
飛ノ台史跡公園博物館長 立田 健三郎

5 議題等

議案第45号 県費負担教職員の任免に関する内申について

議案第46号 船橋市博物館協議会委員の委嘱について

その他 (1) 平成15年度予算編成について

6 議事の内容

【委員長】 開会宣言 午後2時

ただ今から教育委員会10月定例会を開会いたします。

前回の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思いますが、いかがでしょうか。

【全委員】

承認します。

【委員長】

それでは、議事に入りますが、議案第45号及び第46号については人事に関する案件ですので、審議は非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【委員長】

議案第45号「県費負担教職員の任免に関する内申について」及び議案第46号「船橋市博物館協議会委員の委嘱について」は船橋市教育委員会会議規則第14条の規定により、審議は非公開といたします。

それでは、議案第45号を審議いたしますので、関係職員以外の方は退場願います。

(関係職員以外退場)

議案第45号「県費負担教職員の任免に関する内申について」は学務課長より説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

続いて、議案第46号「船橋市博物館協議会委員の委嘱について」は飛ノ台史跡公園博物館長より説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

職員を入場させてください。

(職員入場)

【委員長】

それでは、続きまして、その他の報告をしていただきます。「平成15年度予算編成について」財務課説明願います。

【財務課長】

平成15年度の教育費の予算の報告について説明いたします。

平成15年度の予算編成方針が示されました。教育費予算の編成作業が今、真っ最中でございます。このたび教育費予算要求のうち主要な政策事業がまとまりましたので、ご報告申し上げます。お手元の予算要求説明資料に基づきまして、管理、学校教育、生涯学習部長から順次説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

【管理部長】

それでは、ご説明を申し上げます。まず1ページからでございますけれども、教育広報発行費でございます。予定といたしましては年3回、各5万部の印刷配布を予定したいと考えております。市内の小中学校、養護学校の児童生徒、教職員、それから教育関係機関、その他地域の自治会等に配布をいたしたいと考えております。

それから、次に2ページ目でございますけれども、学校の耐震改修事業でございます、来年度、宮本中学校の工事を予定いたして、これを計上いたしたいと考えております。

次に3ページでございますけれども、学校の空調設備の設置事業でございます、小学校の保健室、音楽室、コンピュータ室のほか、職員室・校長室、全校に設置をしたいと考えております。それから、中学校の保健室、職員室・校長室について全校設置をしたいということで予算を計上いたしております。

以上でございます。

【学校教育部長】

学校教育部関係についてご説明をいたします。4ページをお願いしたいと思います。少人数授業等担当補助教職員活用事業、この事業は新規事業でございます。ゆとりときめ細かな教育活動を展開するため、例えばTTとか、各学校のニーズを考えて市独自に採用いたしました非常勤講師を派遣する事業でございます。その予算が約1億4,000万円ですが、さらにこれに加えて、まだここには記載されていませんが、部活動の指導者の補助として派遣する事業を計上してまいりたいと思います。それにつきましては、今検討中でございます。

次、5ページ、要研修教員対策事業でございますが、学級崩壊等の指導力不足の教員に対して、指導力不足の解消を図るということを目的としまして特別な研修事業を実施いたします。その研修等で、特に校外研修等に必要な経費を計上したものでございます。

次、6ページにいきたいと思います。学校管理運営費補助金、これは拡大事業ですが、開かれた学校や、あるいは特色ある学校づくりを進める上で、学校の管理運営費として公費としての経費の充実を一層図っていく必要があるだろうということで、拡大事業として約3,700万円計上させていただきました。

次に7ページにいけます。情報コーディネーター派遣事業でございますが、学校教育中の情報化に伴いまして、例えば図書館の物流化だとか、さまざまな情報化が進んでおります。この情報化の専門的な業務として、いわゆる授業等はやらないわけですね。コンピュータ関係だとかインターネット関係を操作する人員として特別に担当職員を配置していこう、そのために必要な経費でございます。

それから、次、8ページをお願いしたいと思います。校舎改修費という事業名ですが、この校舎改修費というのは、特にADHDの子供だとかLD児とか、そういった情緒障害の子供が普通学級で学習することが大変多くなってございます。その子供たちを通級制で、ある学校に情緒障害学級をつくりまして、そこに通級させる。そういうようなシステムをこれからつくっていきましょうということで、特別に新規として、そのための校舎を改修していく。そのための環境整備をするために必要な修繕費でございます。

それから、9ページ、西安市学校間国際教育交流費ですが、これは隔年で船橋市から西安市に行ったり、西安市から船橋市に來たりという事業をずっと続けております。その関係で、来年度は西安市から船橋市に約50名程度の方を招聘して交流を進める事業でございます。約550万円ぐらいの予算を計上いたしました。

それから、10ページ、外国語指導助手招致事業でございますが、現在、ALTは小学校45校で9名、中学校は27校で27名。これは全校1名ずつです。それから、市立船橋高等学校1校に2名のALTを現在派遣して、全部で38人体制で運営しております。来年度からは、さらに小学校全校に派遣できるように2名を追加して40人体制で国際理解教育を推進していきたい。これをもちまして、小中高全校にALTを派遣できる体制が整いますので、来年度これが実現すれば目標が達成されるということになる事業でございます。

それから、11ページ、研究研修活動の充実ですが、これは来年度から本市が中核市になりまして、それに伴いまして、今まで県が行っていた事業を、原則として船橋市がすべてやることとなります。その中で、必ずやらなくてはならない事業が1から6事業ございます。その事業をこれから船橋市が中心になって研修計画を立てて予算化をして進めていかななくてはならないんですが、原則的に2分の1は国から補助が出るんですが、研修を進めるために必要な経費として約190万円計上させていただきました。

そのほか、県でやっているさまざまな事業がありますが、これは今後県と共催をしていくような形で県の方をお願いをしていく予定でございます。その県に参加する経費につきましては、県の経費でやってもらえるように、これからお願いしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

【生涯学習部長】

それでは、12ページをお願いいたします。IT技術振興事業ですけれども、これは平成13年度、国の施策として行いました。非常に好評でしたので、緊急雇用対策の補助金として14年度も行いました。そういうことから、非常に好評ですので、15年度も引き続き同じ緊急雇用の中で行っていききたいと思います。6会場で120講座、2,400人を予定しております。

次に13ページ、高根公民館駐車場整備事業でございますが、この高根公民館は非常に不便なところにありまして、駐車場も5台と非常に狭いわけです。そういう中で、車で来

の方が非常に多いということから、隣の高根小学校の敷地を学校行事のないときとか、授業のないときは利用させていただいているんですけども、どうしても授業があったり、行事があったりしたときには利用できないということから、駐車場を拡張していきたいという事業でございます。

次に14ページでございますけれども、南口再開発ビルが来年4月完成いたします。6階部分につきましては多目的スペースとしまして、船橋市の芸術文化の新しい活動空間としての場所を提供するというで行っているわけですが、市の政策としても非常に大きな1つになるのではないかと思います。そういう中で、いろんな事業を行うとか、業務委託をするとか、そういうことで市民文化創造館運営費として8,939万5,000円を予算要求してまいりたいと考えております。

次に15ページですけれども、同じく市民文化創造館施設管理費ですけれども、これは光熱水費とか、施設維持にかかる経費とか、いろんな施設の保守点検にかかる費用、それと保留床が半分ありまして、それを賃借するようになりますので、その賃借料を含んでおります。1億1,075万9,000円を計上していきたいと思っております。

次に、16ページの同じく文化創造館基金ですけれども、これは文化創造館が自主事業を行う場合に円滑に行うために、文化ホールでも現在行っている制度ですけれども、それと同じく基金をつくりまして2,000万円、これでやっていきたいと考えております。

それから、17ページなんですけれども、同じく基金繰出金とありますけれども、これはこの事業を行って赤字が出た場合に補てんする額でございます。1,000万円計上しておりますけれども、これは赤字が出なければ、この金額はだんだん少なくなると思います。

次に18ページ、文化芸術ホール事業管理システムですけれども、これは文化創造館と文化ホールをオンラインで結びまして、予約管理だとかチケット販売を行いたい。それと、インターネットでも結べるような方法を行いたいということで3,378万2,000円を要求してまいりたいと考えております。

それから、19ページ、運動広場整備費でございますけれども、これにつきましては、今グラスポがございまして。グラスポの隣に約2万平米の用地があるんですけども、その用地をお借りいたしまして、自由広場、それともう1つ、少年野球だとか、ゲートボールだとか、ソフトボールだとか、そういうものができる芝生広場、それとあと駐車場、そういうものに利用していきたいということで計上しております。

それから、20ページ、まちかどスポーツ広場でございますけれども、これは現在、場所としましては飯山満町ですけれども、東葉高校の前、約6,000平米をお借りできる見込みがございましたので、スポーツレクリエーション広場として整備してまいりたい。4,000万円を計上いたしました。

次に21ページ、図書館電算システム管理運営費でございますけれども、これは現在、図書館はすべて電算化されているわけですが、来年の9月30日をもってリース契約が切れます。そういうことから、また新たにリース契約をするものでございまして、こ

れにつきまして、使えるものは使っていくということでやっておりますので、1,283万4,000円を計上していきたいと思っております。

次に22ページ、最後になりますけれども、市民文化ホール整備費としてなんですけれども、音響卓は63年度に交換いたしまして、もう14年経過いたしました。現在、修繕するにも部品がないと言われているような状況で、非常に心配な面があるわけです。それと、このホールにつきましては、音楽関係の方から、非常に残響音が悪いということをおっしゃっておりまして、ハイブリッド残響可変システムを一体としてここに導入していきたい。2億1,735万円を要求してまいりたいと考えております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。まず最初に財務課長にお聞きしたいのですが、全体の予算枠は市当局からシーリングで示されているのでしょうか。それから、教育委員会の予算の中の政策経費はどのぐらいまで使える予定なのか。それから、今現在出されている要求を合算すると幾らになるのか。

【財務課長】

助役からの説明によりますと、数字そのものが示されてございません。前年度予算以下に抑えなさいということで、非常に歳入が厳しい折から、余り大きな予算についてはご遠慮願いたい。ただ、暗いことばかり言っていると暗くなるので、とにかく出してください、ということで、数字は示されてございません。

教育委員会の政策経費について、今、作業中でございます。今回、お出ししたのは第1回の定期ヒアリングが済んだもの、重要なもの、それから2回目が24日に行われます。それが済みますと、財政課の方へ政策経費の入力が始まる。28日が締め切りでございますので、そのときに大枠の数値が出てきます。

【委員長】

本当は実際にこの委員会の場で、どれが本当に必要なのか、重点項目というようなことも委員の中で検討していきたいと思いますが、まだちょっと時間がありますので、きょうは個々についてご質問なり、ご意見を伺いたいと思います。

【委員】

昨年はたしか前年に比べて1.4%マイナスだったんですよね。大枠としては、さらにそれよりもまた減らされるという見通しはわからないですか。

【管理部長】

基本的に市の財政当局は、来年度は今年度よりもさらに歳入が減額するであろうという予想をしております。しかも、それも100億単位で減収になるのではないかみたいな話まで飛び交っておりますので、やはり何%減という形にはならざるを得ないのかなという気はいたしております。

【委員】

新規事業も結構大きな金額のものが多くて増えているんですけども、この新規事業の方を含めて、去年の予算より減額になっているんですか、なってないんですか。

【管理部長】

予算要求の段階では減額にはなっておりません。増額で要求はいたしております。

【委員】

ということは、減らされる可能性はもう120%ぐらいあるわけですよ。そうすると、この中で本当に新規で推し進めていかなければいけない部分と、これは減らされてもしょうがないという部分をはっきり色よく分けていかないと、全部減らされる可能性もある。全部が全部通るわけじゃないですから、優先順位をはっきりしていかないと。来年に回せるものと回せないものをはっきり要求していかないとと思いますけれども。

【委員】

1つ1つのことに少し質問をさせていただきますけれども、教育広報の発行というのは、長い間言い続けてきて、やっと予算が請求されるということで期待をしております。300万円ではありますが、広報というのはお金だけではなくて、ここに張りつける人が問題ですので、これだけであっても、ともかく芽が出るということが大事なので、ぜひ発行していただきたいと思います。

それと、耐震のことについて、今回の場合は、この宮本中学校だけを補強するということですが、これは宮本中学校が耐震診断の結果、補強するという結果が出ての予算要求でありますかというのが、質問です。

それから、次の空調設備については、やっぱり随分巨額のお金がかかるなということで、ちょっと弱気になってしまうのですが、これはもし全校にクーラーをつけたら、電気代のようなものは、また別途ということで理解してよろしいでしょうか。

それから、少人数学級のところは新規事業で、去年たしか予算要求をして、ゼロ査定をいただいたものですよ。私はこの予算要求の中で、広報は300万円ですから、ぜひ通していただきたいという意見を申し上げますが、この少人数事業というのは最優先で請求をしていきたいと考えます。

後半はまた後でさせていただきますけれども、少ない予算の中で総括的に出して、全体的に少しずつカットされて薄められるというような結果が一番つまらない方法だと思います。ですから、先ほど委員の意見に私も賛成で、私どもの意向としては、めり張りをつけて、これは絶対必要、これがだめであれば、こっちは今年我慢して予算を取れなくてもよいというような、はっきりした優先順位をつけてヒアリングのときに言っていたければと思います。

【管理部長】

耐震につきまして、宮本中学校につきましては、既に耐震診断は終了しまして基本設計まででき上がったもので、来年度工事を発注していきたいと考えております。まだ耐震診断が終わっていない学校が多々ありますけれども、それも順次診断をしていきたいという

ことで、本年度の予算は要望していく所存でございます。ただ、本年度までは耐震診断につきましては市長部局の防災課で事業を執行しておりました。来年度からは教育委員会分については教育委員会でやってくれないかという話も来ておりますので、財政ともご相談をしながら、そういう方向で検討していきたいと考えております。

それから、もう1つの学校の空調の関係でございますけれども、単に家庭用の小さな空調機を入れるということでしたら、それほどのお金はかからないんですが、何せ職員室・校長室、あるいはそれぞれの教室が相当大きいものでございますから、相当大きな空調施設を設置しなければならない。機器についてはさほどの経費はかからないんですけれども、それに伴います配線工事ですとか、あるいは既に配線がされている容量、配電盤ですとか、変電器等、キュービクルといいますけれども、その施設容量が不足をしております。そういうことから、それらをすべて交換しなければいけない。ちなみに職員室・校長室、1校当たり、私どもの方では大体500万円程度かかるんじゃないかという予測を立てております。

【財務課長】

電気代ですが、電気代につきましては一般経費でございます。経常的に毎年出ているものについては、課長ヒアリングまでいかないで係、担当レベルのヒアリングでなりまして、こういった増加するようなものについては、これが認められました暁には調整いたします。

【管理部長】

それから、予算が全体的に縮小されたというお話がございましたが、私ども事業単位で予算というのは綿密に計算をして要求をしていくものですから、その金額が、場合によっては、そこまでやらなくてもいいから、もうちょっと下で抑えなさいというような言い方はあるかと思いますが、新規事業の場合は、ほとんどの場合がゼロか要求どおりかという格好の方が多いのではないかなという気はしております。何分にも予算編成権が私どもにございませんので、どうしても市長の裁量権限といいますか、長の権限でございますので、財政当局とのやりとりは相当熾烈なものがございまして、担当課も努力をいたしておりますので、ご理解いただきたいと存じます。

【委員】

そうしますと、例えば校長室、職員室、保健室、音楽室、コンピュータ室で空調設備を設置というふうに予算要求しますよね。減額されて校長室、職員室だけとか、校長室と保健室だけとかということはありませんか、全部だめか採用かという可能性の方が高いということなんですか。

【管理部長】

こういった単体で幾つもやりますよという場合には、そのうちの例えば50上げたら30だけにしなさいとかという話も出てくると思いますけれども、その1つの事業をやりたいということになったときに、その費用が全額ないといけないというのは、ゼロか全部つくかのどっちかになってしまうということですね。こういう場合、55プラス27校の要

求ですから、何も今年全部やらないで、それを3年計画でやりなさいとか、そういう話にはなつてはいかがでしょうかと思います。

【委員】

宮本中学校の耐震補強というのがございますね。この中学はいつごろ建設したんでしょうか。それによってほかの学校も同時に次々とあるのではないかなという気がします。この1校だけというのが、ちょっと不思議に思っています。

【管理部長】

今手元に何年の建築かの資料を持っていないのですが、基本的には56年以前に建築された学校については、すべて耐震診断をなささいということになっております。それは建築基準法で、新耐震ということで、耐震設計が基準法の中で取り入れられたのが昭和56年で、それ以前の建築物については耐震設計がされていないということから、そういうふうになるわけですけれども、ご承知のように、船橋市は昭和40年代は人口急増ということで、40年代に建てた建築物が非常に多うございますので、大部分の学校が該当するとお考えいただいた方がよろしいかと思ひます。

【委員】

そうしますと、今まで既に幾つかの学校は補修なさっているということですね。

【施設課長】

宮本中は36年度に建設されております。それから、補強工事の関係ですけれども、小中学校の診断の対象が77校ございます。そのうち診断の終わっている学校が46校。その診断の終わっている46校のうち、今年度までに7校完了しております。来年は宮本中学校を予定しておりますので、8校ということになります。それでとりあえず第1ラウンドは終わるということになりますけれども、まだ診断を終わっていない学校もありますし、診断が終わった学校でも、まだ補強工事まで進んでいない学校もございます。

【委員長】

これはもう毎年言うんですけれども、お金がないということで、市長部局によりやく1校だけ何年か前につけていただいたという経過があります。

【委員】

わかりました。

【管理部長】

今、何年か前と言われましたが、何年か中断した時期はありますけれども、峰台小学校が今年度から復活したということでございます。

【委員長】

情熱を持って教育長になられたと思ひますが、予算編成権がないものですから、絶対やりたいということがなかなかできない。特に少人数学級は教育長になるときに意気込んで来られたと思ひます。我々委員会としても、教育長のそういう姿勢を側面から市長に対して応援をしていく義務があると思ひますが、教育長として何か抱負なり、やりたいとい

うことがございますか。

【教育長】

まず、皆さん方に今日お示ししているのは、できれば予算の要求とか編成をする前に教育委員さんと、どういうものが大事だとか、こういうこともやったほうがいいんじゃないか、というようなことをいろいろ協議いただくためです。なかなか難しい問題もあって、白紙から協議するということはできませんし、でき上がってしまって、もう動かしようがなくなって皆さんにお示ししてもしょうがないので、この程度がいいかなということをお願いしているわけです。この程度というのは、ここに書いたのは、政策経費の中の、特に皆さん方にご理解いただいておりますか、皆さん方が聞けば、やっぱり必要だよというような部分が示されています。この中に入っていないのもまだたくさんありますが、そっちは必要ないかという、そういうことではなくて、新規のものとか、ぜひ委員さん方にご理解いただいて、側面からまた応援していただきたいというものばかりを特に示したものです。したがって、ここに出した中で、どの項目もカットされたりしては困るというものばかりでございます。これは関係課から、そのようなことで出されていると理解をいただきたい。

先ほど部長が申し上げましたように、教育委員会は任免権はありますけれども、予算の編成権はございません。そういう法律になっていますから、市長部局の方へ、こういう予算が欲しいという要望を出すだけです。最終的に決定するのは財政当局でやるわけですが、説明の仕方とか、熱意とか、いろんなことがあろうかと思いますが、今、極めて財政状況は悪いのですが、その中でも少しでも目指してやるべきものはやっていくということで、ここに書いてあるのは全部やっていきたいと考えるので、皆さん方にも理解いただいて頑張ってもらいたい、側面から応援してもらいたい。これはこうだということを市民の皆さんにご説明いただかなくてはいけないので、ぜひここで、これは何だという疑問があれば出していただいて、ここに出たものは全部必要だということをご理解いただければありがたい。あとのやり方、テクニックは教育委員会として、精神的に皆さん方に応援してもらわないとどうしようもないので、ぜひお願いをしたいと思います。

【委員】

市民文化ホール整備費について、ハイブリッドの残響の試験のとき、私も見させていただいたというお話をしたのですが、この2億1,700万円の予算要求の内訳というか、音響の取り替えだけでこれだけ全部必要だということでしょうか。市民のレベルで考えると、確かにあそこのホールは音が悪くて、クラシック音楽の人たちは出るのを嫌がるし、先般、教育長の話だと、演歌の人でも嫌がって市民文化ホールは来ないという話も聞いたんですけど、そういう評判があって、確かに残響がよくないというのはあるんですね。実験に行ってみて、残響を聞いて、やっぱりつけた方がいいかなというふうな感じは明らかにわかる場面もありますけれども、音響だけ取り替えても、多分、市民の大多数の人はよくわからなくて、こんなにたくさん市民文化ホールにお金をかけたのというふうな

とらえ方をされるのかななんて思ったりもするのですが、音響板を替えるだけでこれだけかかるのか、それとも中のいすの問題だとか、少し湯沸かしポットを使ったら電源が飛んじゃうような電源の装置のところとか、そういうところも含めての予算要求なのか、お聞かせください。

【市民文化ホール館長】

2億 1,700万円の内訳ですけれども、音響卓の改修工事は受注生産で、ホールの大きさとかによってみんな音響卓は違うんだそうです。そういったことで、出来合いを買うわけにいかないということで、音響卓だけで1億 5,200万円ばかり、残響可変で 6,500万円ということで見積もりはいただいております。それと、残響可変法ですけれども、先だって9月14日、「モーツァルトとイタリア名曲の旅路」の公演の時に残響可変をつけてまして、来た方にアンケートをとりました。そうすると、よかったというのは90.2%ということで数字が上がっております。

【委員】

あのとき 6,000万円と言っていたのは、交換する部品の一部だけなんですわね。

【市民文化ホール館長】

残響可変システムの方だけでございます。6,500万円かかります。

【委員】

ハイブリッド残響可変システムが 6,500万円。音響卓が1億 5,200万円。

【教育長】

先だっても予算のヒアリングをやったときに、このことは問題になったんですけれども、こういう厳しい状況の中で、これはぜひいたくたよと言われる可能性も十分あるんですが、先ほどそのあたりご指摘されたように、周りの市町村は立派な効果のあるものがある。船橋は演歌歌手も来ないよ。どうせやるなら市川でやりたいとか、小岩でやりたいとかと言われている。船橋市も来年から中核市になるので、周りから見て遅れないようにするために、今出しておいた方がいい。これも力を入れてやりましょうよという共通理解を図ってここへ上げさせていただいたところでございますので、ご理解いただきたい。

【委員】

できるものなら絶対あった方がいいです。

【委員】

では、もう1つ。南口の創造館の方の、施設的には音の問題とかは、どの程度の施設がこの金額で備えられているのでしょうか。

【文化課長】

残響可変システムを組み込む工事を行っている状況でございます。約4mの天井高のため音響的には課題がありますが、残響可変システムを導入することによって、音響のよい空間ができると考えております。

【委員】

空調設備なんですけれども、約5億5,000万円かかるんですけれども、教育長も夏場ずっと各学校を訪問されて、やはりかわいそうだというような状況ですので、3年計画になるのかわかりませんが、できればみんなこの学校も条件を1つにして、いい教育ができるような学校、やっぱり職員が環境が悪いと、子供たちにも影響を及ぼす可能性がありますので、ぜひこの辺は5億5,000万円かかろうが、6億円かかろうが、一括してやっていただけるように努力していただきたいと思います。

【委員長】

この予算の問題は今後勉強していかないといけないと思いますので、今日は一応報告ということでございますので、これで終了したいと思います。

本日予定しておりました議案等の審議は終了いたしました。各委員から何かこれ以外のことでございますでしょうか。

ないようでしたら、これで教育委員会10月定例会を閉会いたします。

【委員長】 閉会宣言 午後3時00分

10月定例会議事日程

日時 平成14年10月17日（木）午後2時

場所 教育委員室

委員長開会宣告

第1 前回会議録の承認

第2 議案第45号 県費負担教職員の任免に関する内申について

第3 議案第46号 船橋市博物館協議会委員の委嘱について

第4 その他（1）平成15年度予算編成について

委員長閉会宣告